

無作為抽出市民アンケート及び説明会会場アンケート調査 集計

発行枚数 1,050件(返戻4件) 回収 307件(29.35%)
 説明会会場 回収 31件

※その他の世帯・・・主に保育所等に入所していない未就学児童のいる世帯
 ※グラフ中「子いない」・・・子どものいない世帯
 ※なお、集計には含めていないが、幼稚園・認証保育所・家庭福祉員(保育ママ)にお子さんを預けている保護者、民間保育所園長からも意見徴収し参考にした。

Q1 あなたは、多摩市が子育てしやすいまちだと感じていますか？

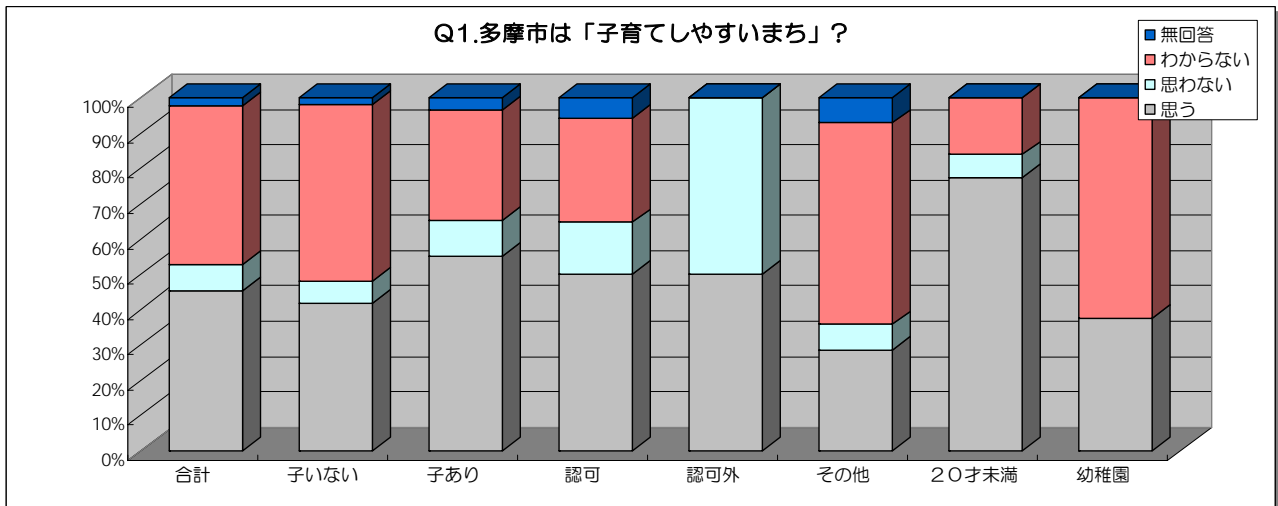
【全体】 45.24%が「思う」、44.94%が「わからない」と回答。

【属性別】 子どものいない世帯の回答の約半数が「わからない」と回答。

子どものいない世帯を除くと、55.06%が「思う」で10.11%が「思わない」

「思う」の理由として、「緑が多い」「遊べる場所が多い」「人、車が分離されていて安全」「医療補助、育児相談、児童館等が充実している」という点が最も多かった。また、「思わない」の理由には「保育園に入れない、良い幼稚園が少ない」といった施設的な要素と「医療費(無料の範囲)」といった制度的な要素の意見があった。

重要なのは、残りの31.46%が「わからない」であったこと。「他市と比較できない、転入間もない」等の理由もあったが、現に多摩市で子どもを育てている保護者が「思う」とも「思わない」とも回答していない。



		合計	子いない	子あり	「子あり」内訳				
					認可	認可外	その他	20才未満	幼稚園
Q1	思う	45.24%	41.70%	55.06%	50.00%	50.00%	28.57%	77.42%	37.50%
	思わない	7.44%	6.48%	10.11%	14.71%	50.00%	7.14%	6.45%	0.00%
	わからない	44.94%	49.80%	31.46%	29.41%	0.00%	57.14%	16.13%	62.50%
	無回答	2.38%	2.02%	3.37%	5.88%	0.00%	7.14%	0.00%	0.00%

Q2 多摩市使用料等審議会の答申 「限られた予算の中で、多様な子育て支援のニーズに応え、現在の認可保育園の保育の質を維持していくためには、保護者負担(保育料)の見直しをせざるをえない」について、あなたは、どう思いますか？

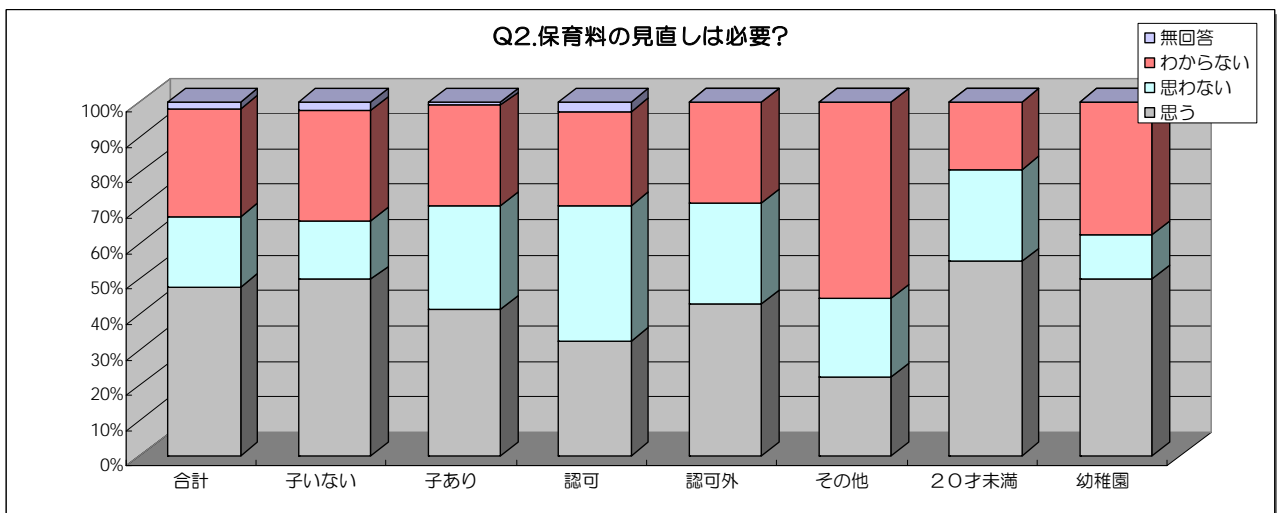
【全体】 47.62%が「思う」、30.36%が「わからない」、19.94%が「思わない」と回答。子どものいない世帯を除いた場合は、「思わない」が29.21%に上昇する。

約半数が「思う」と回答している理由として、「待機児童(保育所不足解消)を受け入れるため」「市財政(市の負担分が大きい)を良好に保つため」という点や「保育所(保育所入所者)にお金を掛けすぎ」「税金をあてにするのではなく、サービスを受ける側(受益者)も相応の負担をすべき」という厳しい意見もあった。

【属性別】 保育料について、最も関係のある「認可保育所に子どもを預けている世帯」のみで32.35%、全体ではほぼ半数が「思う」と回答している点からも、審議会答申のポイント「国徴収基準対比50%が一般的に受入られる数字である」が確認できる結果だと考えられる。

「思わない」理由としては、「第3子が無料になっても当てはまる家庭が少ない」「今でも保護者負担は大きい」「少子化への懸念」等があった。

「わからない」という中の理由には「認可保育園の収支現状を把握し、研究・配慮して決定してほしい」「収入が多いならば増やしてもいいのでは」という肯定的な意見、一方で「家計が厳しくなる中、保育料まで上がるのはつらい」「国に対して、助成するよう積極的に働きかけるべき」などの意見もあった。

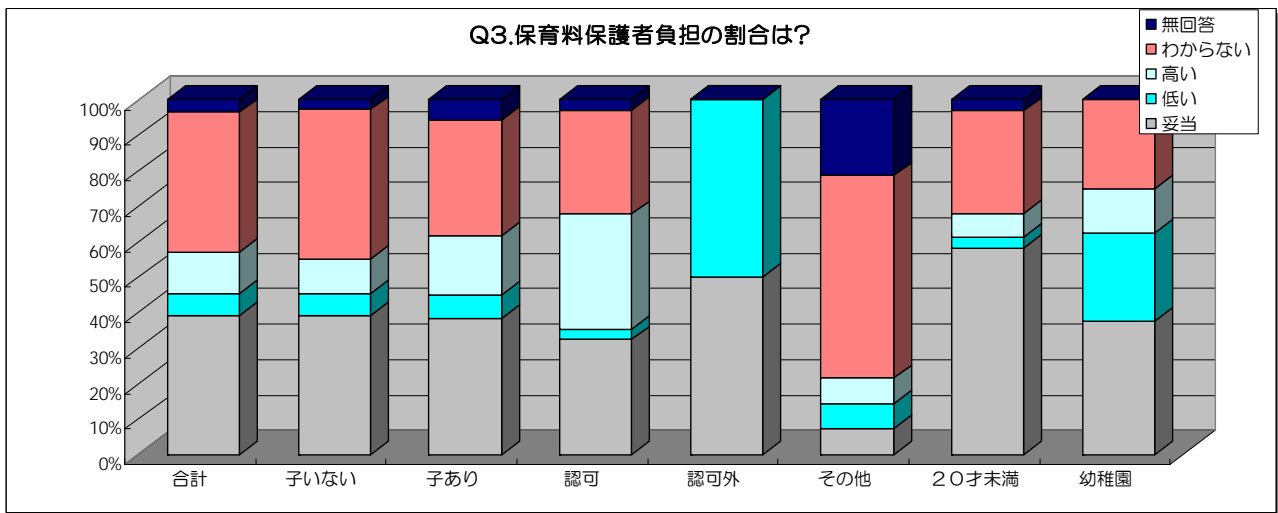


		合計	子いない	子あり	「子あり」内訳				
					認可	認可外	その他	20才未満	幼稚園
Q2	思う	47.62%	49.80%	41.57%	32.35%	42.86%	22.22%	54.84%	50.00%
	思わない	19.94%	16.60%	29.21%	38.24%	28.57%	22.22%	25.81%	12.50%
	わからない	30.36%	31.17%	28.09%	26.47%	28.57%	55.56%	19.35%	37.50%
	無回答	2.08%	2.43%	1.12%	2.94%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

Q3 「保育料改定の基本的な考え方」この水準について、どう思いますか？

【全体】 「妥当」が38.99%、「わからない」が39.58%、次いで「高い」が11.61%「低い」が6.25%であった。子どものいない世帯を除いても、「妥当」は38.2%、「わからない」が32.58%、「高い」が16.85%、「低い」が6.74%であった。

【属性別】 子どものいない世帯、その他の世帯では、「わからない」という割合が高く、42.11%と57.14%であった。一方、20才未満の子どもがいる世帯、幼稚園児のいる世帯については、「妥当」という割合が最も高く、58.06%と37.50%であった。認可保育所に子どもを預けている世帯は「妥当」「高い」が32.35%、「わからない」が29.41%、認可外に子どもを預けている世帯は「妥当」と「低い」がともに50%、子どものいない世帯は「妥当」が39.27%、「高い」が9.72%、20才未満の子どもがいる世帯では「わからない」が29.03%、「高い」が6.45%、「低い」が3.23%、また幼稚園児のいる世帯は「低い」と「わからない」がそれぞれ25%、「高い」12.5%である。



		合計	子いない	子あり	「子あり」内訳				
					認可	認可外	その他	20才未満	幼稚園
Q3	妥当	38.99%	39.27%	38.20%	32.35%	50.00%	7.14%	58.06%	37.50%
	低い	6.25%	6.07%	6.74%	2.94%	50.00%	7.14%	3.23%	25.00%
	高い	11.61%	9.72%	16.85%	32.35%	0.00%	7.14%	6.45%	12.50%
	わからない	39.58%	42.11%	32.58%	29.41%	0.00%	57.14%	29.03%	25.00%
	無回答	3.57%	2.83%	5.62%	2.94%	0.00%	21.43%	3.23%	0.00%

認可保育所に預けている世帯等で「わからない」との回答が多いのは、市の保育料がどうなるかというよりも、自分の保育料が幾らになるのかが重大なポイントであることの表れではないかと推察される。そのひとつの証左として、多子軽減について、上の子のカウントを小・中学生も含めてほしい等の具体的要望が多かったが、これはその範囲広げないと自分は該当しないからといった理由であると考えられる。

一方、直接保育料とは関係のない20才未満の子どもがいる世帯や子どものいない世帯では、「妥当」の割合が高く、認可利用世帯だけが優遇されることに不満を感じており、「安心して子どもを預けるために保護者がそれなりの負担をすること」や「市の負担について、半分を超えないこと」

など、Q2と同様に「国基準対比50%」を支持する声が多かった。同時に、自由意見等では、小・中学校や幼稚園等、認可以外に対する補助の充実を求める声があった。

「高い」の主な理由は「少子化への懸念や他市と比較し、一番低くてもいいのでは」「多摩市の自慢できる長所。前面に押し出せばいい」等がある。

一方で「低い」の理由として、「他地域より低ければ上がるのはしょうがない」「親は十分な自己努力を先ずすべき」「税負担を言うのは、一種の甘え」等があった。

さらに、「わからない」の理由の中には「負担額があがると、パートの収入は保育料の為に減ってしまう」「50%は妥当というよりもギリギリ受け入れられる線では」等があった。

Q4 今後の保育施策について、あなたはどのように考えますか？

【全体】 すべての属性において、「幅広い支援」が最も割合が高く、55.95%と他を圧倒した。

幅広い支援＝一時保育や子育てひろばや相談事業、また幼稚園での預かり保育補助など、保育所整備だけでなく、幅広い子育て支援を充実してほしい。

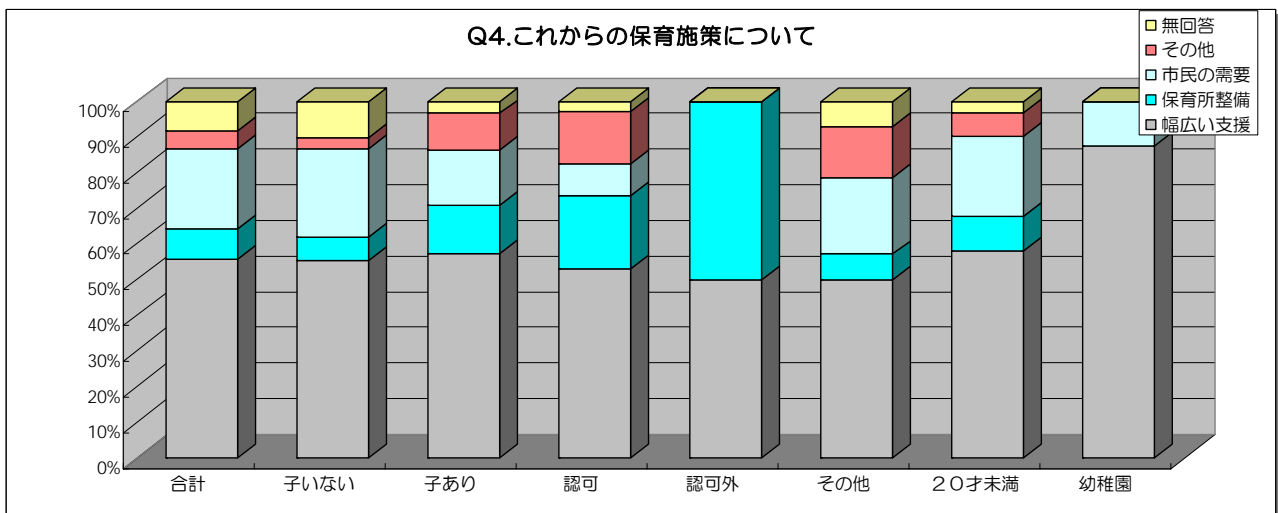
保育所整備＝他の施策よりも、税を優先的に投入して、保育所整備を中心に施策を進めるべきである。

市民の需要＝税を投入するのだから、幅広い市民の需要に応える施策を展開すべきである。

一時保育や子育てセンター等の主に在宅児童に関するものや幼稚園補助等、保育所のみならず未就学児全体に行渡る幅広い支援を求める声大きい。

また、「保育所整備」は待機児童解消に向けて大きな効果があるが、在宅の家庭や幼稚園保護者等にとってはメリットがない。あくまでも、「保育所整備」は幅広い子育て支援の一環として捉えておく必要がある。

「その他」の意見として「保育園よりも小学校を」「自然災害に備え建物の整備や保安要員を」等があった。

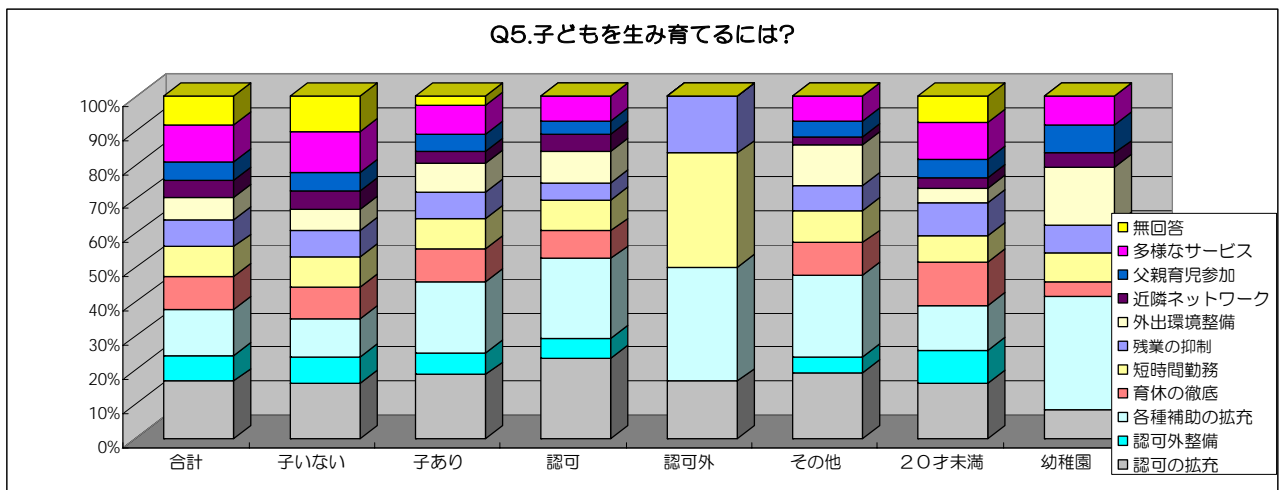


		合計	子いない	子あり	「子あり」内訳				
					認可	認可外	その他	20才未満	幼稚園
Q4	幅広い支援	55.95%	55.47%	57.30%	52.94%	50.00%	50.00%	58.06%	87.50%
	保育所整備	8.33%	6.48%	13.48%	20.59%	50.00%	7.14%	9.68%	0.00%
	市民の需要	22.32%	24.70%	15.73%	8.82%	0.00%	21.43%	22.58%	12.50%
	その他	5.06%	3.24%	10.11%	14.71%	0.00%	14.29%	6.45%	0.00%
	無回答	8.33%	10.12%	3.37%	2.94%	0.00%	7.14%	3.23%	0.00%

Q5 子どもを産み、育てやすい環境にするために、重要だと思うものを3つ選択してください。

【全体】 最も多かったのは、「認可保育所の拡充」で16.63%。次いで「各種補助制度などの充実」が13.65%、3番目に「多様な子育て支援・保育サービスの充実」で10.86%であった。

Q4の結果(幅広い子育て支援55.95%、保育所整備8.33%)と矛盾するようにも思えるが、現在認可保育園では、6園で一時保育、4園で子育てセンター事業、全園で子育て相談や地域交流事業等を実施していることから、認可保育所の在宅育児支援などのソフト面を含めた選択と考えられる。子どものいる世帯といない世帯では若干順位が変わり、子どものいる世帯では「各種補助の拡充」(20.83%)と「認可保育所の拡充」(18.56%)が突出して高く、他はほぼ横並びである。一方、子どものいない世帯では「各種補助の拡充」(11.08%)と子どものいる世帯の半分程度の割合になるなど、各項目に選択は分かれている。



		合計	子いない	子あり	「子あり」内訳				
					認可	認可外	その他	20才未満	幼稚園
Q5	認可の拡充	16.63%	15.95%	18.56%	23.23%	16.67%	19.05%	16.13%	8.33%
	認可外整備	7.47%	7.84%	6.44%	6.06%	0.00%	4.76%	9.68%	0.00%
	各種補助の拡充	13.65%	11.08%	20.83%	23.23%	33.33%	23.81%	12.90%	33.33%
	育休の徹底	9.46%	9.46%	9.47%	8.08%	0.00%	9.52%	12.90%	4.17%
	短時間勤務	8.76%	8.65%	9.09%	9.09%	33.33%	9.52%	7.53%	8.33%
	残業の抑制	7.77%	7.84%	7.58%	5.05%	16.67%	7.14%	9.68%	8.33%
	外出環境整備	6.67%	6.08%	8.33%	9.09%	0.00%	11.90%	4.30%	16.67%
	近隣ネットワーク	5.08%	5.54%	3.79%	5.05%	0.00%	2.38%	3.23%	4.17%
	父親育児参加	5.28%	5.41%	4.92%	4.04%	0.00%	4.76%	5.38%	8.33%
	多様なサービス	10.86%	11.76%	8.33%	7.07%	0.00%	7.14%	10.75%	8.33%
	無回答	8.37%	10.41%	2.65%	0.00%	0.00%	0.00%	7.53%	0.00%

Q6 自由意見

子育てに関すること、行政に関すること、保護者等に関すること等、様々な意見が寄せられた。以下、抜粋。

【保育料に関すること】

- 保育料不払いをなくす。(制度を変えて、退園できるようにする。)(子どものいない世帯)
- 保育料を5年位で見直していくべき。利用者の立場に立って考えて欲しい。(子どものいない世帯)
- 国の負担分が、国策にしては低い。市にがんばってもらいたい。(子どものいない世帯)
- 値上げをするなら、無認可保育所の補助も考えて金額を決めたらと思う。多様な子育て支援が必要。(子どものいない世帯)
- 他市の水準と比べるのではなく、市民生活の安心、安定を水準にすべき。(子どものいない世帯)
- 保育料引き上げで増えた収入で何をしたいのかわかりません。20時迄の延長保育・病児保育の設置希望(認可の世帯)
- 少子化に対する流れに逆行。高額所得者の増税分が少ないのが疑問。(認可の世帯)

【保育園や子育てに関すること】

- 保育所などの充実が切実。(20歳未満の子あり世帯)
- 6ヶ月～1歳までに、保育園にすぐ入れないと仕事を続けるのが難しい。(子どものいない世帯)
- 保育所の拡充が必要。利用者負担は必要。利用者も認識すべき。(子どものいない世帯)
- 保育園のあり方を原点に戻って考えてみる必要あり。利用者も安易に保育園に頼っていないか？(子どものいない世帯)
- 保育園の実態を把握して、税金の無駄使いをなくして頂きたい。保育士のレベルにも開きがある。(子どものいない世帯)
- 本当に仕事が必要なのか、見極めが必要。プロの力を借りるのなら、多くのお金を払うのが当然。(子どものいない世帯)
- 50%負担は妥当。それにより、充実した保育が出来ればよい。駅中保育園が必要と思う。(子どものいない世帯)
- 他市とあわせる必要はない。保育料も安い、すみやすい街と認めていただければ多摩市のウリになる。(認可の世帯)
- 0歳・1歳の一時保育の充実。(その他の子あり世帯)
- 待機児童世帯にも、支援が拡がり、受益の内容に応じた負担へのきめ細かな改定は、良いこと。(子どものいない世帯)
- 子育ての大切さは、幼児支援だけでなく、小・中学校の子供達の教育・環境も充実させないといけない。(子どものいない世帯)

【幼稚園に関すること】

- 幼稚園・小学校に行っても、十分に働ける環境をつくって欲しい。(幼稚園の世帯)

【手当等に関すること】

- 保育所には満足している。保育料を上げるなら、3人目以上の児童手当3歳迄15,000円にして下さい。(認可の世帯)
- 児童手当を中学生まで延長して欲しい。市税を幅広い世代に平等に生かして欲しい。(20歳未満の子あり世帯)
- 子育てする上でありがたいのは、お金の負担が少ない事。(幼稚園の世帯)
- 少子化対策としてのサービスを増やして欲しい。児童手当増額。保育所提供。出産一時金。(認可の世帯)
- 母子家庭、父子家庭の補助金を減らさないでほしい。1,000人のアンケートは少ないのでは？(子どものいない世帯)

【行政に関すること】

- 少子高齢化問題から考えた時、子育て環境は充実させていくべきだと思う。(子どものいない世帯)
- 就学前の子供だけでなく、子供全部を考慮する。子育てにかかる費用全体を見る必要がある。(子どものいない世帯)
- 市民全体のバランスを考えて施策を考えて欲しい。老人も子育て世代も、自助努力の姿勢が必要。(子どものいない世帯)
- 子育て支援こそ税金の使い道として妥当。女性が働きやすい社会づくりの姿勢を示していただきたい。(認可の世帯)
- 子育て環境と高齢者が住みやすい街とするため、バランス良く予算を執行して下さい。(子どものいない世帯)
- 子育ても重要だが、老人も増えている。十分に考えて税の投入を決めて欲しい。(子どものいない世帯)
- もっと無駄をなくすことが優先ではないか。(子どものいない世帯)
- NPOを支援しすることで、子育て支援は、もっと充実する。(子どものいない世帯)
- ムダが多い(道路整備)。保育園はもう少し高く設定しても良い。(認可の世帯)
- 子供達は「希望」であり「未来」。子供を大切に出来ない社会は行き詰まります。(認可の世帯)
- 無作為抽出のアンケートは、考え直すべき。(子どものいない世帯)

Q6 自由意見(参考徴収分)

幼稚園・認証保育所・家庭福祉員(保育ママ)にお子さんを預けている保護者、民間保育所園長から徴収した意見から抜粋。

【保育料に関すること】

- 待機児童を減らすために、保護者負担額を増やす事は、基本的に反対ではない。(認可外の世帯)
- 保護者の負担増大は避けて欲しい。(幼稚園の世帯)
- 保育料を上げるのは良いが、払わない人がまた増えるのではないか。(幼稚園の世帯)
- 今回の保育料改正が保護者に意識付けされるものであって欲しい。(子どものいない世帯)

【保育園や子育てに関すること】

- 桜ヶ丘の上の方に認可保育園をつくって欲しい。(認可の世帯)
- 保育園入所のきめ細やかな選考基準を設けて下さい。やむを得ずパート勤めなのに、常勤より格下。(認可の世帯)
- 24h保育園が1つくらいあっても良いと思う。(認可外の世帯)
- マンション等が増えているのに、保育園が増えていない。(認可外の世帯)
- 地域に根ざした先進的な保育を期待しています。(認可外の世帯)
- 待機児童が多いのに、なぜ改善できないのか。一時保育の負担が大きくて、働いている意味がない。(幼稚園の世帯)
- 中長期的視点で保育園の数的・質的充実を計画して欲しい。(その他の子あり)
- 少子化対策の具体的な施策が聞きたい。認証ではなく認可保育園を増やして欲しい。(認可保育所の子あり)
- 多摩市が子育てしやすい街にしてくれる事だけを考えて下さい。(その他の子あり世帯)
- 一時保育等知らない家庭も多数あると思うので、もっと伝われば良いと思う。(その他の子あり世帯)

【幼稚園に関すること】

- (その他)幼稚園の補助金は、10月頃手元に届く。もう少し、補助金が早ければ、助かります。(認可外の世帯)
- 0・1・2歳の枠を増やせばいいのではないか。幼稚園保護者には手当が少ないと思う。(幼稚園の世帯)
- 保育園も幼稚園も平等に補助金を出して欲しい。料金をもう少し、安くして欲しい。(幼稚園の世帯)
- 幼稚園の方も充実させてほしい。(幼稚園の世帯)
- 幼稚園の預かり保育を利用する人も多いので、幼稚園に通わせても働ける環境を作って欲しい。(幼稚園の世帯)
- 幼稚園と保育園を一体化させた施設ができると良いと思う。(幼稚園の世帯)

【手当等に関すること】

- 児童手当の充実、子どもをたくさん産みやすい制度に・・・。3人目4人目の金額を大幅UPや補助制

度等(幼稚園の世帯)

【行政に関すること】

- 保育園にばかり税を投入するのは疑問。全員が通う、小・中学校に力を入れて頂きたい。(幼稚園の世帯)
- 認証保育園に3人預けていて、負担が大きい。長時間保育に対応してもらえるが、毎月16万円かかる(認可外の世帯)
- ベビーカーでの外出時、階段が多く不便。母の働き口が少なすぎる。(認可の世帯)
- いくら企業が来ても、この街に住み着かなければ、子育てをしようと思わなければ、何もならない。(認可の世帯)
- 子育て環境は重大だが、それ以前に、産める環境「産科医不足」を考えて欲しい。(幼稚園の世帯)
- 少しでもゆとりある時間を若い方に持っていただきたい。(子どものいない世帯)

また、民間保育所園長から徴収した意見には、次のようなものもあった。

- 保育料を上げた部分は、子育て支援に活用を。
- 値上げは、保育料滞納につながる。滞納者に対して積極的に働きかける方法を考えるのもよいと思う。
- 支援センター・保育園等子育てについて相談できる場所・スタッフが多くいる。(子育てしやすい)(Q1)
- 賃金が上がらず、物価が上昇。国が口だけでなく、お金も出さなくてはと思う。(保護者負担割合は妥当ではない)(Q2)
- 保育所整備、一時保育や子育てひろばの充実等が共に必要。(Q4)